

平成30年12月12日

会員各位

美しい多摩川フォーラム事務局

## 平成30年度 第2回 三部会合同部会

◆ 12月12日(水)、美しい多摩川フォーラムの平成30年 第2回 三部会合同部会が開催されました。概要は下記のとおりです。

- ・開催日時：平成30年12月12日(水) 15時～16時半
- ・開催場所：立川グランドホテル 3F サンマルコ
- ・出席者：副会長、部会長、副部会長、運営委員、アドバイザー、会員等

### ◎ 三部会合同部会の概要

#### 1. 開会

#### 2. 副会長・部会長挨拶

#### 3. 経過報告

- (1) 東急百貨店より第9回「ココエコチャリティー」の寄付金贈呈(10/9)【資料1】
- (2) 多摩川流域魅力体験事業に関する事業運営連絡協議会会議(10/11、11/7)
- (3) 多摩川一斉水質調査地点の現況確認および見直し選定作業  
(10/12、10/15、10/22、10/24、10/26、10/29、11/14)
- (4) 多摩川“水”大学講座開催(10/19、11/16 最終回)
- (5) 第11回多摩川一斉水質調査レポート発行(11/1)【資料2】
- (6) 第10回美しい多摩川クリーンキャンペーン開催(11/3、11/10、11/17)【資料3】※
- (7) 多摩川流域魅力体験事業! 「多摩川カヌー駅伝大会2018&謎解きウォークラリー」  
に協力(11/24)【資料4】※
- (8) 第1回運営委員会開催(11/27)【資料5】
- (9) 多摩川流域自治体交流イベントラリーに協力(5/26～11/30)
- (10) 第11回多摩川子ども環境シンポジウム開催(12/8)【資料6】  
～以下、当面の予定～
- (11) 100年プラン・パンフレット改訂【回覧】
- (12) 多摩川夢の桜街道～札所見直し【回覧】
- (13) 多摩川流域魅力体験事業・事業運営連絡協議会会議開催(第6回)

#### 4. 意見交換

- (1) 平成31年度事業計画骨子(事務方素案)の主な実施内容について【資料7】

(2) 「美しい多摩川フォーラム・御岳の森」の活用について

(3) その他

5. 出席者全員の自己紹介（取り組み事例の発表）

6. 部会長総括

7. 閉会

## 1. 開会（初参加者紹介および資料確認）

（事務局）

定刻になりましたので、美しい多摩川フォーラム平成30年度第2回三部会合同部会を始めさせていただきます。

いつもであれば初めてご出席される方の自己紹介をお願いしておりますが、本日は、最後に出席者全員の自己紹介、取り組み事例の発表を予定しておりますので、ここでは省略させていただきます。

はじめに資料の確認ですが・・・（省略）。

本日は、副会長の平野教育文化部会長と渡邊環境清流部会長が出張により欠席となりました。本日の部会進行は、地域経済活性化部会長代理の堤副部会長にお願いしたいと存じます。それでは、小倉副会長と堤部会長代理に開会のご挨拶をよろしく願いします。

## 2. 副会長・部会長挨拶

（小倉副会長）

皆さんこんにちは。平成30年度も多くのイベントが終了し、成果が得られたのではないかと思います。本日も、多摩川フォーラムの今後のために、色々なご意見をいただきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

（堤・地域経済活性化部会長代理）

お忙しい中お集まりいただき、有り難うございます。いつもは多摩川フォーラムが何をやっているのかのご紹介が中心ですが、本日は皆さんがやっていることを発表していただく時間を設けました。しかしながら、そちらだけに力を入れずに、フォーラムの活動についても議論していただければと思いますので、よろしく願いいたします。

## 3. 経過報告

（事務局）

それでは、経過報告に移ります。前回10月の三部会合同部会以降の当フォーラムの活動につきましては、お手元の資料の表紙に時系列でお示ししております。

それでは、その中から特に2つの活動につきましてビデオにまとめておりますので、前方のスクリーンをご覧ください。

— ビデオ放映 —

経過報告を続けます。

**(1) 東急百貨店より第9回「ココエコチャリティー」の寄付金贈呈 (10/9)【資料1】**

- ・ 【資料1】をご覧ください。今年も東急百貨店のココエコチャリティー・イベントによる売上金の一部321,564円が、当フォーラムに寄付金として贈呈されました。因みに、贈呈式には、細野会長に出席いただきました。なお、いただいた寄付金は、「多摩川一斉水質調査」などの多摩川環境保全活動に役立てていきます。

**(3) 多摩川一斉水質調査地点の現況確認および見直し選定作業**

- ・ 10月に6日間に亘り、多摩川一斉水質調査全75地点の現況確認を実施、11月14日には、見直し選定作業を行いました。その結果、現在新たな調査地点を含め53地点で取り纏めました。このデータを基に、新たな調査地点の現況確認調査を12月に実施し、最終的に全体のバランスで全調査地点を確定させたいと考えております。なお、本件は、渡邊環境清流部会長、山崎運営委員のボランティアによる協力のもと実現しました。どうも有り難うございました。

**(4) 多摩川“水”大学講座開催 (10/19、11/16 最終回)**

- ・ 7年目となる今年度は、引き続き小倉副会長に講師をお願いし、とうきゅう環境財団様との共催のもと、開催しました。今回の修了生9名を含め、修了生は延べ87名となり、各地で水環境のリーダーになることが期待されます。本件につきまして、小倉副会長に一言申し上げます。

(小倉副会長)

今回は、とうきゅう環境財団さんのご協力で開催することができました。今までは多摩地域で開催していましたが、今回は川崎市民が多く参加しました。今までの議論とは違う、下流に関する議論が活発に行われ、参加者は非常に楽しんでいました。

**(5) 第11回多摩川一斉水質調査レポート発行 (11/1)【資料2】**

- ・ 【資料2】をご覧ください。6月3日に実施された多摩川一斉水質調査の最終

結果報告書がまとまりましたので、本件につきまして、小倉副会長にご説明をお願いします。

(小倉副会長)

多摩川一斉水質調査は6月3日を中心に380地点で実施され、その結果を3段階に分けてマップで表現しています。全国的には、北海道から沖縄まで全6,895地点で実施されました。全国調査は15年で延べ参加者数10万人を突破し、地点数は82,000地点を突破しました。このような調査を継続することが、汚れている所の原因を解析する、あるいはヒアリングをする要因のひとつになっており、今後も継続することが重要であろうと思います。2019年度は6月2日に実施する予定ですので、次回もご参加ください。

**(6) 第10回美しい多摩川クリーンキャンペーン開催 (11/3、11/10、11/17) 【資料3】**

- ・ 【資料3】をご覧ください。今年度は天候に恵まれ、第1弾として11月3日に多摩市にて、第2弾として11月10日に川崎市にて、第3弾として11月17日に青梅市にて実施しました。最後のページの、羽村市が実施した清掃活動報告書をご覧ください。本件につきまして羽村市産業環境部の橋本部長様よりご報告をお願いします。

(羽村市 産業環境部長 橋本 昌 様)

クリーンキャンペーンに合わせて毎年実施しておりますが、今年は市内の多くの企業にお声がけをし、97人で清掃活動を行いました。当市では春と秋に清掃活動を行っているため、春についても企業さんにお声がけをし、さらに多摩川をより良くするための活動や、多摩川の良さをPRする活動を充実させていきたいと思っております。

**(7) 多摩川流域魅力体験事業！「多摩川カヌー駅伝大会2018&謎解きウォークラリー」に協力 (11/24) 【資料4】**

- ・ 【資料4】をご覧ください。先ほどご覧いただいた映像は、青梅市カヌー協会が富士通に依頼し、ドローンを飛ばして上空から見たカヌー駅伝大会の映像です。なお、当日は、ゴール地点に大型モニターを設置し、GPS活用することで、選手たちが今どこを走っているのかを、リアルタイムで映し出し、ゴール地点で観戦できるようにしました。

**(8) 第1回運営委員会開催 (11/27) 【資料5】**

- ・ 【資料5】をご覧ください。第1号議案：桜の寄贈について (案)、第2号議案：フォーラム・御岳の森「炭焼き施設」全面リニューアル工事について (案)、第3号議案：事務局用パソコンの更新について (案)、以上3件が承認されま

した。

**(10) 第11回多摩川子ども環境シンポジウム開催 (12/8) 【資料6】**

- ・ 【資料6】をご覧ください。当日は6グループ34名の子どもたちの発表があり、総勢172名の方にご来場いただきました。なお、今回も子どもたちが投票してグランプリ、準グランプリを、そして新たに審査員特別賞を設け、表彰いたしました。

～以下、当面の予定～

**(11) 100年プラン・パンフレット改訂【回覧】**

- ・ 100年プラン・パンフレットの改訂につきまして、細野会長と相談のうえ、原稿が纏まりましたので、従来のパンフレットと合わせて回覧させていただきます。現在、細野会長に挨拶文をお願いしております。来年2月20日の三部会合同部会までに完成を目指します。

**(12) 多摩川夢の桜街道～札所見直し【回覧】**

- ・ 多摩川夢の桜街道～札所見直しにつきましても回覧させていただきます。今年の春から夏にかけて全八十八ヵ所および新札所候補に実際に足を運んで、現況調査を行い、ようやく八十八ヵ所の選定が終わりました。只今、回覧している資料をベースに、現在、新しいマップ作成、HP改訂作業を進めております。次回の三部会合同部会では、新しいマップ(案)をご覧ください、HP改訂につきましてもご案内させていただく予定です。  
事務局からの経過報告は以上です。堤部会長代理、よろしく願いいたします。

(堤部会長代理)

事務局からの経過報告について、何かご意見・ご質問はございますか。私から一つ質問があります。12月8日に開催された多摩川子ども環境シンポジウムの表彰はどうやって決めたのですか。

(事務局)

グループ毎に、自分たち以外のグループで良かったと思うグループを2グループ選んでもらい、子どもたちが投票します。その集計結果を踏まえ、審査員であるフォーラム役員の皆様が決定します。結果として、今回も1番票の多いグループをグランプリ、2番目に票の多いグループを準グランプリとしました。また、グランプリ、準グランプリ以外のグループを対象に、大人目線で審査員特別賞を表彰しました。

実は、本日欠席ですが、今回も子ども環境シンポジウムにご出席いただいた渡邊部会長から、この評価方法について「次回は見直すべき」とのご意見を頂戴しております。渡邊部会長は、「グランプリ、準グランプリを、子どもたちが投票して決めるやり方では、子どもたちが何でグランプリに選ばれたのかがよくわからない。次回の目標につながらない。今後、発展させていくためには、審査項目を明確にして、審査員である大人が責任をもって選ぶべき。そうしないと次回以降に発表しない団体が生じる可能性があり、とても危惧している。今年度中に実行委員会を開いて議論する必要があるのではないか」とのご意見をいただいておりますことをご報告させていただきます。

(堤部会長代理)

確かに、こういった指標で選ばれているかを明確にしていけば、子どもたちにとっても「こういうことに気をつけて発表していこう」となりますから、教育的な観点からも重要な指摘だと思います。他にご意見、ご質問はございますか。

(山崎教育文化副部会長)

「みんなの発表誌」の発行が、10周年記念の予算の関係等で中止になっていますが、予算繰りで可能であれば、ぜひまた発行していただきたいです。子どもたち自身が何を発表したのかを記録として残してあげたいと思います。

(堤部会長代理)

有り難うございました。その他、ご意見、ご質問はございますか。

(奥山アドバイザー)

多摩川一斉水質調査結果レポートの「市民が行う環境調査の重要性」の部分で、「下流で生活排水が流入していると、例えば鮎のように川を遡上して生活する魚はすめません。」とありますが、関係ないと思います。「川全体を考えてきれいにしましょう」としたほうが良いと思います。「鮎」と書いてしまうと、専門家が見た時に、「せっかく水質調査しているのに、川のことを分かっていない」と思われてしまいます。魚に関しては、山崎教育文化副部会長に事前にチェックしていただく等、より信憑性が出てくるので良いと思います。

(堤部会長代理)

貴重なご意見、有り難うございました。その他、何かございますか。ないようでしたら、意見交換に進めます。始めに、(1)平成31年度事業計画骨子(事務方素案)の主な実施内容について事務局の方から説明してください。

#### 4. 意見交換（部会長代理）

##### （１）平成31年度事業計画骨子（事務方素案）の主な実施内容について【資料7】 （事務局）

【資料7】をご覧ください。来年度につきましても、「経済」「環境」「教育文化」それぞれで継続事業を中心に計画を立てております。

補足をさせていただきますと、「経済」③多摩川カヌー駅伝大会（3年目）については、東京都自治調査会の助成事業で、青梅市をはじめとする多摩川流域6市との連携事業になります。美しい多摩川フォーラムは、これに協力という立場で参画します。来年の3年目までは満額で助成されますが、4、5年目になると、1/2の助成金となり、足りない1/2は調達しなければなりません。

次に「環境」②多摩川一斉水質調査（第12回・6月）ですが、現在、調査地点の見直し・整備を行っております。新たな10年に向けてスタートを切りたいと考えております。

次に「教育文化」②炭焼き体験と水辺の交流会ですが、今年度、木柵の改修工事が完了し、来春には炭焼き窯のリニューアル工事を予定しています。この後、「御岳の森」の活用方法について意見交換を予定しておりますが、来年度についても、しっかりと事業を進めてまいりたいと考えております。

また、10周年事業の一環で、来春に計画している「多摩川夢の桜街道」公式ホームページ改訂につきましては、来年度の予算で賄うことになっており、これを以って10周年記念事業が全て終了することになります。事務局からの説明は以上です。

##### （堤部会長代理）

有り難うございました。ご質問やご意見等ありますか。ないようでしたら、「美しい多摩川フォーラム・御岳の森」の活用について、事務局から説明してください。

##### （２）「美しい多摩川フォーラム・御岳の森」の活用について （事務局）

「美しい多摩川フォーラム・御岳の森」ですが、最寄り駅は御嶽駅です。御嶽駅よりさらに上流に向かって2km程進んだ場所に、奥多摩フィッシングセンターという釣り場があります。その敷地内に、奥多摩フィッシングセンターの土地と隣接して、「美しい多摩川フォーラム・御岳の森」と称している炭焼き施設とログハウスがあります。前回の三部会合同部会でも少し触れさせていただきましたが、初めて聞く方もいらっしゃるかと存じますので、少しだけこの施設についてパワーポイントを使って簡単に説明させていただきます。前方のスクリーンをご覧ください。本年8月に木柵改修工事を行い、8月15日に完成しました。こちらが「御岳の森」の全体像になります。左手に炭焼き窯、右手にログハウスがありますが、工事をしたのはログハウスの木柵

になります。来春には、経年劣化に伴い、炭焼き窯の全面改修工事を行う予定ですが、この施設は毎年「炭焼き体験と水辺の交流会」で活用しているものの、もっと有効活用ができないものかのご意見をいただいております。そこで、来春の工事が完了した段階で、役員・会員の有志の方にお集まりいただき、懇親会を行いたいと考えております。

今後、皆さんのほうで利用したいというご意見があれば、ルール作りが必要かもしれません。ご質問やご意見があれば、よろしく申し上げます。

(堤部会長代理)

有り難うございました。皆さん、ご意見等ございましたらどうぞ。

(富国生命保険相互会社 立川支社 市場開発グループ課長 梶田 俊樹 様)

前回、ここで宴会をやろうという話が出ましたが、トイレや水道等の設備はどうなっていますか。

(事務局)

トイレはこの施設の手前にあります。東京都が管轄するトイレです。水は、このトイレから引っ張ってくることは可能ですが、飲み水ではありません。ログハウスには囲炉裏が2つあり、この囲炉裏を囲むように20人くらいが座れるようになっています。実際にここで芋煮会をしたこともあります。

(堤部会長代理)

オペラコンサートや都々逸とかはどうでしょうか。

(事務局)

施設の目の前は釣り場ですので、音楽も良いですが、釣り人に迷惑を掛けてしまうことになるかもしれません。面白いアイデアとは存じますが、有り難うございます。

(堤部会長代理)

皆さま、他にアイデアはございませんか。

(奥山アドバイザー)

私は施設をチラッとしか見たことがないのですが、「御岳の森」と言うわりに、杉林だらけで「森」という雰囲気がありません。周りの土地所有者と交渉ができれば、ナラやクヌギ等の落葉広葉樹を植え、どんぐり拾いをさせる等、「森」らしく周りの景観を整えることも考えたらどうでしょうか。

横で釣りができるということなので、宴会をする際には釣った魚を食べるのも良いのではないのでしょうか。



(事務局)

「森」については、青梅市柚木町に「美しい多摩川フォーラムの森（青梅）」があり、落葉樹を植えていますし、毎年下刈りイベントを行っています。そこは杉を間伐して広葉樹を植え、本来の森の活力を取り戻す取り組みを8年ほど継続しています。

「御岳の森」について前回の運営委員会では、『木登りをしたことがない子どもが多いので、ツリークライミングをさせたり、森遊びをさせたりする拠点にしたらどうか』という、奥山アドバイザーと同じような意見がありました。

(堤部会長代理)

ユニークなアイデアが出ていますが、春・夏・秋と色々なシーズンで活用できます。他にも、「自分が使うとしたら」という観点でも結構ですので、ご意見をお願いします。

(山崎教育文化副部会長)

私は年に1回この場所を利用して子どもたちに色々な川遊びを教えています。炭焼き窯からは人間がいぶされてしまうくらい大量の煙が出て、何かを堂々と燃やすことができる唯一の場所ではないでしょうか。最近は一斗缶でゴミを燃やしても文句が出るご時世ですから。子どもたちにとっては良い経験値を増やせる場所だと思います。子どもたちが鮎のつかみ取りをした後、自分で魚の腹を裂いて命の大切さを知り、その魚をログハウスの囲炉裏で焼いて食べてもらっています。奥山アドバイザーが言うように、ぜひ釣りもやってみたいなと思っています。青梅の友愛会という団体が、毎年釣り大会を開いていますが、「御岳の森」を使ってもらいたいと思います。大人が使っても面白い施設ですし、子どもたちがしたことのないことをやらせてあげられる、比較的自由な施設ですので、広く活用できたら良いと思います。

(堤部会長代理)

「御岳の森」の利用者に制限はあるのでしょうか。利用料は徴収しているのでしょうか。

(事務局)

利用の制限どころか、PRが足りないので、利用したいという声があがりません。まずは会員や役員の皆さんの会社で使っていただき、良いアイデアを出していただきたいと思っております。施設の鍵は、番号を合わせれば開く形式になっていますので、多摩川フォーラムの会員であれば、鍵の番号をお伝えできます。

前回の運営委員会でも、『もっとPRをして情報発信をしてほしい。』という意見がありました。また、『目の前に釣り場があるのだから、釣って食べてもらったらどうか。』『野鳥がいるのだから、野鳥観察会と絡めて施設を利用したらどうか。』という意見もありました。また、『事務局でも管理に限界があるだろうから、シェアリング

エコノミーの発想から、ボランティアで管理・ガイドしてくれる指導員を募り、体験型のイベントをやってもらったらどうか。』という意見もありました。先ほど、堤部会長代理から「春・夏・秋に活用できる」という話がありましたが、『冬に囲炉裏を囲んで暖かい酒を飲むのも良いのではないか。』という意見もございます。

#### (堤部会長代理)

平成31年度の事業計画は、今までのような新規案件が無く、継続事業ばかりという印象を受けます。事業を運営するためだけに事務局があるのではなく、多摩川フォーラムの存在をたくさんの方に知っていただく活動や、新規会員の獲得も大事だと思います。新規会員を取り込むためには、どうやって既存事業に魅力をつけるかを考えなければいけないのではないのでしょうか。

そこで提案ですが、「御岳の森」の利用を会員だけに限定しないのであれば、会員は無料または低額の利用料、非会員の方は少し高めに設定し、「会員になれば安く利用できます」というようにすれば、「御岳の森」自体を会員獲得の材料にできるのではないのでしょうか。リニューアルを記念して、例えば「多摩川子ども環境シンポジウム」で発表してくれた野鳥博士を「御岳の森」に呼んでイベントを開くのも良いのではないのでしょうか。

シェアリングエコノミーに関しては、平成30年度は総務省から助成金が出ていて、行政なら申し込むことができるので、次年度以降、例えば青梅市に手を挙げてもらう等、ここだけで完結せず、できるだけ多くの方にこの場所に気付いてもらう働きかけをしたらどうでしょうか。

#### (事務局)

多摩川フォーラムは収益事業ができないので、利用料をいただくことに関してはすぐわない部分があるかもしれませんが、会費に還元する等やり方を工夫すればありかもしれません。

来年度の事業に付加をつけるという部分でお話させていただきます。「経済」軸の桜の事業では、桜の札所の全面リニューアルを行い、マップやホームページも改訂する予定で、新たにPRして観光誘致に繋げていきたいと考えています。酒蔵街道についてもJR、はとバスに協力してもらい、定着しつつありますが、これを更に発展させていくために、小澤運営委員に相談し、スタンプラリーを取り入れて運動を活性化させたいと検討しております。「環境」軸の多摩川一斉水質調査についても、全調査地点に足を運んで見直し作業を進めております。「教育文化」軸については「御岳の森」リニューアルに伴う新たな活用を検討しています。これまでの10年の事業を見直し、さらにインフラを再構築し、既存事業に価値を付けていこうと考えております。これから2～3年で、20周年に向けて、100年プランを見直し発展させていきたい

いと存じます。前任の宮坂事務局長が「SLを走らせたい」と話していましたが、そういう夢のあるプランを掲げていきたいと考えておりますので、皆様のお知恵とご協力をお願いいたします。

(堤部会長代理)

本日は三部会合同部会ですので、私は「経済」の観点から発言しておりますが、「環境」や「教育文化」の観点からも皆さんのアイデアをいただきたいと思います。

(中央大学学会東京大田区支部 副支部長 藤井 政男 様)

多摩地域全体の発展を考えると、御岳山が重要だと思うので、多摩川フォーラムが主導して色々な機関に訴え、御岳山がミシュランガイドに載るように働きかけたら良いと思います。地域経済活性化のためには必要だと思います。

## 5. 出席者全員の自己紹介（取り組み事例の発表）

(堤部会長代理)

さて、本日の三部会合同部会は基本的に終了しましたが、今日はこの後、取り組み事例の発表をおこないます。「せっかくこれだけの行政や企業などが集まっているのですから、会員がおこなっているイベントや事業を発表できる場をつくっていただきたい、自分たちの活動について、この場で発表することがあっても良いのではないのでしょうか」とのご意見をいただき、会員同士の横の繋がりや連携を活発にできればと取り入れたものです。部会では初めての試みになりますので、今日は全員の自己紹介（取り組み事例の発表）を一人1分程度でお願いします。

なお、これからの進行については、三部会合同部会の直接の議論ではないため、議事録には記載いたしません。安心してご発言ください。

それでは、お一人ずつ時計回りで順番にお願いします。

<自己紹介・取り組み事例については、部会直接の議論ではないため省略>

(堤部会長代理)

有り難うございました。短い時間の中でご発言いただきましたが、皆さんが何をやっているのかを共有できると、ただ会議に出席して帰るだけではなく、部会に来るのが楽しくなるのではないかと思います。我々がそれぞれの分野で補完しあえる関係であれば良いかなと思います。

## 6. 総括

(小倉副会長)

今日は皆さんの自己紹介があり、それぞれの立場で多摩川フォーラムとの関わりが良く理解できました。今後、時間があれば、お互いの議論ができればより充実するのではないかと思います。多摩川フォーラムの運営にも役立つのではないかと思います。今日は有り難うございました。

## 7. 閉会

(事務局)

以上をもちまして本日の第2回三部会合同部会を終わります。有り難うございました。この後、懇親会を予定しておりますので、行かれる方は、居酒屋「玉河」にご移動をお願いします。

以 上